

アドバイザー：鳥取大学副学長 鳥取大学地域学部数学教育学教授 矢部 敏昭

1 本校の研究

研究主題：「主体的・対話的に学び合い、自分の考えを伝え合う子どもの育成」
～算数科学習と学級づくりを通して～

2 第1回全体授業研究会

(1) 実施場所 琴浦町立八橋小学校

(2) 実施期日 平成30年6月20日(水)

(3) 研究授業 第4学年算数科研究授業 単元「折れ線グラフ」(少人数2コース)

(4) 研究協議

協議の視点「学ぶことを楽しいと感じ、学び合いの中で考えを深める力を育てる授業づくり」

①算数の「4つの力」を育成するための、問い続ける授業展開

②対話的な学び合いの重視

少人数指導の2コース共に、友達と対話的に学び合う場の設定がなされ、児童が自分の考えを持ち、活発に話し合いながら、学習を深めることができた。

(5) 指導助言

鳥取大学 副学長 地域学部 矢部敏昭 教授

- ① 活動できるめあての設定 自分たちで確認して、できるものを。
- ② 活動の位置づけ 「さあ、やろう」と、活動に転換。キーワードで集団学びに。
- ③ 予想、見通しの位置づけ
- ④ 多様な解決・表現 言葉だけでなく、「数」、「式」で説明。「分かる」→「楽しい」で終わる。
- ⑤ 活用題 ～わかる～ 教えられたことから考える。学習の可能性、指導の転換。
*前時までの復習は、問題を解く時にする。どの子も分かるように、既習を生かして学習。

○児童が一人で考え問題解決できる力を育むために、どのような工夫ができるか。

- ・問題が解ける子の学び方を身に付ける。何をすればよいのかが分かる。
- ・めあてを明確にして、机間指導をしながら、集団の質を高める。
- ・学習の可能性 褒めて育てる。おおらかに楽しく。

○問い続ける授業展開を研究内容としているが、どんな問いをどのような場面ですればよいのか。

- ・机間指導で支援しながら「問う」→ 全体でも「問う」
- ・多様性の保障 人との関わりの中で色々な説明が生まれ、色々な分かり方ができる。

本時の授業の指導助言だけでなく、事前質問にも丁寧に御指導いただいた。さらに、今後の本校の取組の指針となる授業改善のポイントについても示していただき、充実した授業研究会となった。

3 第2回全体授業研究会

- (1) 実施場所：琴浦町立八橋小学校
- (2) 実施期日：平成30年11月21日（水）
- (3) 研究授業：第2学年算数科研究授業 単元「かけ算（2）」（ティームティーチング）
- (4) 協議：視点「学ぶことを楽しいと感じ、学び合いの中で考えを深める力を育てる授業づくり」

①算数の「4つの力」を育成するための、問い続ける授業展開

②対話的な学び合いの重視

2年生の研究授業では、友達と対話的に学び合う場の設定がなされ、児童が自分の考えを持ち、活発に話し合いながら、学習を深めることができた。

(5) 指導助言

鳥取大学 副学長 地域学部 矢部敏昭 教授

- ・児童が高め合う姿 「あと一つまとまりができますと思います」「どうして、ない所も計算するの？」
- ・構成の過程 どうやって、作られたのか。同じ式だけど、別のまとまりもある。
かけ算だけではできない…かけ算とたし算→「じゃあ、ひき算では？」
一つの式から、様々なアレイ図をかくということもできる。
- ・深い学び Authentic learning（真正の、本物の）
全体の質を高める支援。子ども同士の教え合い、支援…協同的な学びができていた。
- ・活用問題 良い活用問題だった。終わった子はどうするか→今日のめあて「説明する」へ
練習問題とのつなぎ、意図・・・「考えが生かせるよ。工夫してみてください。」
- ・EDUCATION 2030・・・数学的な見方・考え方

矢部教授からは、本時の授業の指導助言とともに、教員自身も算数のよさや楽しさを感じられるような教材の扱い方や考え方など、具体例を挙げて話していただいた。また、新教育課程を見据えた算数教育の在り方についても示していただき、これからの教育について考えるきっかけとなった。

4 今後に向けて

第1回授業研究会でのご指導をもとに、下記の項目を2学期の重点として取組を進めてきた。

- ・「4つの力」を育成するための「問い」 机間指導で「問う」とともに、全体でも「問う」。
- ・「活動できるめあての設定」 児童が自分たちで確認して、できるものを設定する。
- ・「活用題～わかる～」 教えられたことから考えることができる活用題を設定する。

さらに、第2回授業研究会の協議で、「今後の授業に生かしたいこと」として、下記の点が挙げられた。

- ・子どもに問い続ける教師の姿勢
- ・自分の考えを出し合える雰囲気作り（学級づくり）
- ・机間指導による児童の考えの見取り
- ・子ども同士での考えの洗練

各学年部で児童の発達段階や実態に応じた具体的な取組を考え、共通実践につなげたい。